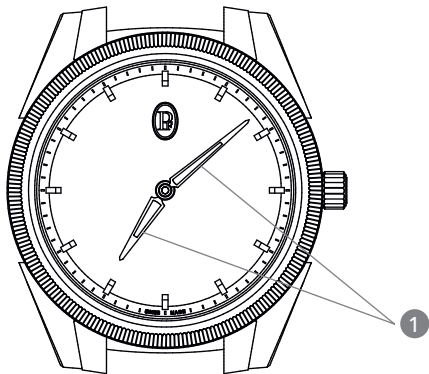


トンダ PF オートマテック 36mm
PF310

PARMIGIANI
FLEURIER



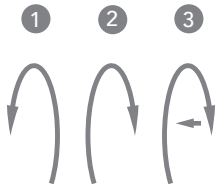
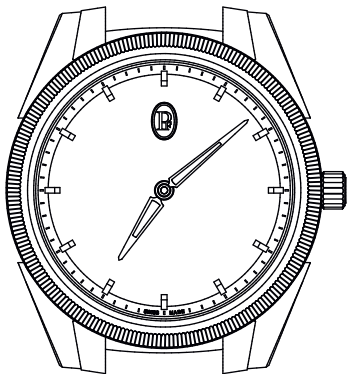
トンダ PF オートマテック 36mm

PF770

3

各部の説明

1. 時、分



反時計回り 時計回り

トンダ PF オートマティック 36mm

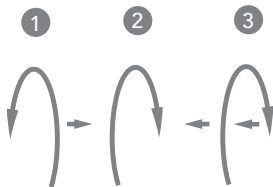
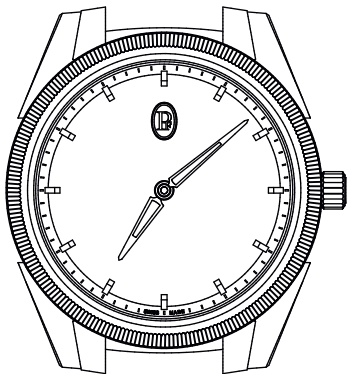
PF770

5

巻き上げ

時計を手首に着用しているときは、手首の動きにより自動的に巻き上げが行われます。パワーリザーブを完全に蓄えるには、時計を少なくとも 12 時間着用する必要があります。この時間は着用者の使用状況により異なります。さらに、ゼンマイが完全に巻き解けたら、リューズを 15 回ほど回す必要があります。これにより、メカニズムは着用できる状態になります。キャリバーによってゼンマイを完全に巻き上げるために要するリューズの回転数は異なります。リューズによる巻き上げは、いつでも行うことができます。時計が停止した場合は、ゼンマイを巻き上げる必要があります。これを行うには：

1. リューズを反時計回りに回して緩め、ねじ込まれていない状態にします。
 2. リューズを時計回りに何回か回してゼンマイを巻き上げます。
 3. リューズをケースに押し込んで締め直します。
- リューズによる巻き上げは、いつでも行うことができます。



反時計回り 時計回り

トンダ PF オートマテック 36mm

PF770

7

時刻の調整

1. リューズを緩め、1 段引き出します。
2. リューズを回して希望の時刻に合わせます。
3. リューズを元の位置に戻し、ケースに押し込んで締め直します。

PARMIGIANI.COM

